



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り
令和4年8月24日発行
第8号 (文責 校長 出口雄三朗)

～ 自分の未来にフタをしちゃいけない 何歳からでも人は変わる ～

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎のあちこちから聞こえてきます。きっと楽しい夏休みを過ごしたのでしょう…。1学期終業式には、「夏休み中に〇〇名人になって下さい。例えば『虫名人』…いろいろな虫を観察してその様子をたくさん見て下さい。他には『縄跳び名人』…今まで跳べなかったような跳び方を上手に跳べるようになって下さい。」など自分なりの目標を立てて、頑張ってくださいと話しました。

子どもたちはどうだったでしょうか？

加えて、「一回チャレンジしたとしても多分失敗します。失敗してもいいから続けてチャレンジして下さい。2回目も3回目も失敗しても、さらにチャレンジし続けて下さい。そうすれば、少しずつ名人に近づけます。」と話しました。

とかく人間は間違えたり失敗したりすると臆病になって、次にチャレンジすることをやめてしまいます。チャレンジをやめたら人としての成長は期待できません…。大人も子どもも自分なりの挑戦を続け、成長していける…そんな毎日を過ごしていきたいものです。



私の尊敬する人の一人に、国連でスピーチし、アメリカのアップル社のCEOに「世界最高年齢のアプリ開発者」と紹介された若宮正子さんという方がいらっしゃいます。87歳です。「面白そう」と感じて、初めてパソコンに触れたのが58歳の時…。それからいろいろなチャレンジをし続け、81歳でシニア向けスマホアプリ「hinadan」をリリースしたり、エクセルアートで自分でデザインした洋服をプロデュースしたりもしておられます。すごい！の一言です。

そんな若宮さんは最近「ACジャパン」の商業にも出演されています。商業の中で、若宮さんはこう言います。「とにかくバッテリーボックスに立ってバットを振ってみようと思ったんです。そしたら当たっちゃったんですよ…」

その後は国連でのスピーチや講演会など若宮さんの活躍は止まるどころを知りません。

続けて若宮さんは言います。「ほんとに人生はわかりませんね。だから、自分の未来にフタをしちゃいけないと思いますね。何歳からでも人は変わる…」

2学期始業式の今日、子どもたちには若宮さんのこのような生き方について話しました。

あきらめることなくチャレンジし続け、失敗を重ねて、だんだん成長していく…

保田小学校生には、そんな人生を歩んでいって欲しいと願っています。

そんな子どもたちを応援したいと思っています。

2学期もどうぞよろしく申し上げます。